

広報 いまり

市の人口	
6月1日現在	
総人口	59,627人
男	27,921人
女	31,706人
世帯数	14,758世帯

昭和29年8月19日
第3種郵便物認可

○毎月1日発行定価1部5円昭和46年7月1日 伊万里市役所秘書企画課発行

No. 209



——舗装を急ぐ市道伊万里～黒川線——

(6月24日、伊商高前付近で写す)

市道の総延長は、約900キロメートル。舗装率は1.8パーセントでい
どです。

そのため、本年度は約2億1,000万円をかけて、舗装7,600メートル
新設改良9,600メートルと老きゆう橋のかけかえなどを行ないます。

舗装費は、昨年度の約2倍の事業費です。

上の写真は、市道伊万里～黒川線の舗装のもようです。ここでは「路盤
安定処理工法」という新しい工法を実験的に採用しています。

なお、工事期間中は通行止めなどで皆さんにご迷惑をかけますが、工
事がはかかるようにご協力ください。

広報こよみ

- 7日 七夕
- 13日・27日 交通事故相談日
- 15日 法律相談日
- 20日 海の記念日
- 21日 学校夏休み始まる
- 22日・23日 第1回港まつり
- 27日 土用丑の日



7
月

第2回定例市議会

大規模なほ場整備事業を実施

南波多町で農業構造改善事業

第2回定例市議会は、6月11日開会、昭和46年度一般会計・特別会計補正予算や市税条例の一部改正案など15件と、6月16日永眠された黒木右馬氏に、伊万里市名譽市民の称号を贈る議案を満場一致で可決したほか、市庁舎建設調査特別委員会など、3つの特別委員会を設置、21日閉会しました。

可決されたおもな議案の概要をお知らせします。

一般会計に

6,355万円を追加

◎昭和46年度一般会計に6,355万円を追加、予算総額は32億7,425万円になりました。

こんどの補正は、おもな財源となる地方交付税や国・県補助金などの交付額が決まっていないため、歳出面は、国・県の方針や事業費の認承が見込まれるものやその他の経費についても最少限度の補正にとどめました。補正したおもなものは次のとおりです。

△総務費は、旧伊万里図書館の敷地内に建っている行政功労碑は、伊万里川の河川敷に入るため、中央公民館の敷地内に移転することにしており、その移転工事費に25万円、災害通信などに協力を得ている、日本アマチュア無線伊万里クラブ局舎設置に対する補助金として6万5,000円

以上は去る五月の下旬に
九州市長会が沖縄で開かれたので、それに出席して得た沖縄風物の断片である。

沖縄の本土復帰も調印されたが、これからなおいつそうみんなが真剣に考えなければならない。

を追加、交通安全対策のため、延命橋線に延べ300メートル・幅1.5メートルの歩道を198万円で建設します。なお、その他の地区にもガードレールや道路標識などを増設するため57万円を計上しています。

大川・松浦地区にも
ほ場整備事業を計画

△農林水産業費に1,077万円を追加しました。

米の生産調整のための農協に対する転作推進補助・各生産組合に対する集団促進補助 259 万円と、市農協が 3,500 万円で二里町川東地区に建設するみかん貯蔵庫の建設補助金として 137 万円、県営事業で昭和47年度から 4 か年事業で計画されている大川・松浦地区 400 ヘクタールの大規模な場整備事業の調査負担金 433 万円、同じく県営事業で計画されている松浦地区的 130 ヘクタールのな

し園造成事業の調査費負担金に 187
万円を計し上ました。

なお、ほ場整備事業の概算事業費は約10億円、なし園造成事業は約4億円の巨費を見込んでいます。

水産業費は、黒川漁港の堤防補強工事費に60万円を追加しました。

市営住宅38戸を建設

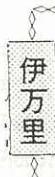
▷土木費は、道路橋りょう費に66万円、住宅費に2,866万円、あわせて2,932万円を追加しました。

道路橋りよう費は、改良予定の道路8か所分の測量を委託するための経費56万円、舗装道路の支持力検査手数料10万円です。

住宅費は、当初計画していた第2種住宅16戸・同和住宅6戸の建設計画を、第1種住宅18戸・第2種住宅14戸・同和住宅6戸、あわせて38戸総事業費3,951万円と大幅に計画を変更し、住宅難を少しでも緩和することにしました。

▷衛生費は、ことしから大川町に建設する簡易水道事業への繰出金557万円と市民病院の伝染病棟に架設した臨時電話架設費と消毒用動力噴霧器2台の購入費9万円あわせて566万円を追加しました。

「ひめゆりの塔」「れいめいの塔」そして、佐賀県人の戦死者を葬った「はがねの塔」など、鉄の暴風雨が降ったといわれる終えんの地を訪れたが、「どこよりもお墓を大事にし、みたまをたいせつにする沖縄でなくならることは、せめてものなぐさめである。沖縄の屋根の上には、三



20万都市へ第一歩 広域圏設立総会ひらく



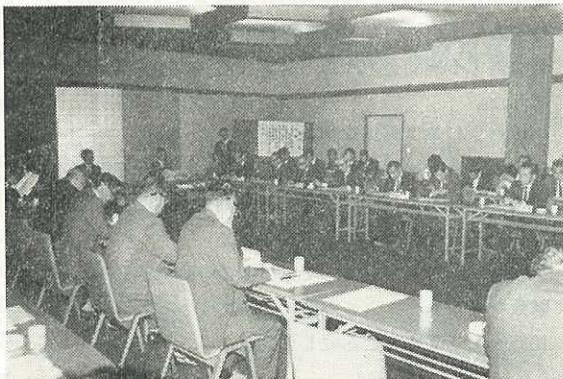
佐賀県と長崎県の12市町村が、県境を越えて広域市町村圏を設定する「伊万里・北松地域広域市町村圏協議会」の設立総会が、6月17日、佐世保市のホテル松蔵で開かれました。広域圏に加入する伊万里市・松浦市など、佐賀県が1市2町、長崎県側2市5町2村あわせて3市7町2村の市町村長と議長、それに佐賀・長崎両県の地方課長など関係者約50人が出席して、協議会の規約・予算などを満場一致で決定、今まで両県に設けていた伊万里・西松浦地域広域市町村圏と北松・伊万里湾地域広域市町村圏の2つの協議会は発展的に解散し、同日から「伊万里・北松地域広域市町村圏協議会」を結成しました。

協議会の会長には、宮原松浦市長副会長に竹内伊万里市長と山鹿平戸市長を選び、こんご広域圏内の総合的・計画的な施策を推進し、地域開発と住民福祉の向上を図ることにしています。



馬蛤瀉地すべりを点検するパト隊

具体的な計画立案案は、関係市町村の担当課長などで幹事会を構成し、基盤整備生活・産業・行政の4つの部門に分けて研究を進め、基本計画を策定することにしています。



なお、協議会をつくった市町村は佐賀県側が伊万里市・有田町・西有田町。長崎県側は松浦市・平戸市・福島町・江迎町・田平町・鹿町町・生月町・鷹島村・大島村の3市7町2村で、面積745平方キロメートル人口19万1,300人です。

災害危険か所を再点検 雨期を前に防災パトロール

市役所や土木事務所・警察署・消防署は、合同で6月10日、市内の災害発生のおそれがある二里町炭山のボタ山や山代町の筒の原ため池・波多津町馬蛤瀉の地すべり・伊万里川や有田川の沿岸など11か所を重点的にパトロールしました。

午後4時から市役所で協議会を開き、現地の状況やこんごの対策などについて協議し、次のような意見が出されました。

▷炭山のボタ山は、昨年から砂防工事が進められ、いまのところくずれる危険はないようだが、いたるところにボタを堀り返したあとがあり雨が流れ込めばくずれるおそれがあるボタを堀り返さないように立札を立てて、住民に注意する。

▷山の寺ため池は、漏水しているので、雨量によっては、危険を感じられるので再調査を行なう。

▷筒の原ため池は、改修工事が計画的に実施されており、危険度はうすいが、なお警戒が必要だ。

▷馬蛤瀉地すべりは、かけ下に約10戸の住家があり、き裂の状態から判断して危険だ、雨量しだいでは避難が必要だ。

▷市内のいたるところに、宅地造成や開こんが行なわれているが、簡単な土どめさくや、野放し状態の所が多く、土砂が流れ出て付近一帯に被害を与えている。施工関係者の自覚が必要であると同時に、こんご開こんや造成工事をするかたは、事前に市の開こん協議会に申し出て指導をうけるなど、完全な防災工事を施工してほしい。など意見が集中しました。

今までに開こんや宅地などを造成したかたはもちろん、こんご計画するかたは、他人に迷惑をかけないように責任をもって工事を施工してほしいものです。

なお、馬蛤瀉の地すべりと陣内の地すべり危険地区は、県に対して急傾斜地ほうかい防止法を適用してもらうよう申請しました。

輝かしい功績をたたえ 黒木氏に名誉市民の称号

6月定例市議会は、18日、老衰のため16日になくなられた黒木右馬氏（伊万里商工会議所会頭・82歳）に対して、15日付で、伊万里市名誉市民の称号を贈ることを満場一致で決めました。

黒木氏は、若くして産業界に身を投じ、多くの公共的団体などの役員を歴任、特に、昭和30年から今日まで16年間にわたり伊万里商工会議所会頭として、市内商工業界の振興に尽くし、市政にあっては、伊万里湾の開発、産炭地振興、企業誘致、教育の振興、トンテンントン祭り奉賛など数多くの問題に熱情をかたむけられ伊万里市の産業と文化の発展に生涯をつらぬかされました。昭和31年藍綬褒章・41年に勲四等瑞宝章、さらに6月18日付で従五位を受章されました。

税務署だより

税務署は、納税者の皆さんの質問や要望に対して、責任をもってお答えできるように専門化したことと事務の能率をあげるために、7月1日から次のように機構を改めました。

—新しい機構—

▷総務課

庶務・会計

▷管理課

- ・納税の管理・納税証明書の発行
- ・納税貯蓄組合の指導・滞納整理
- ・徴収の異議申立

▷直税部門

- ・所得税の申告および指導と調査
- ・所得税の異議申立
- ・相続税・贈与税の相談と調査
- ・法人税・源泉所得税の指導と調査

▷関税部門

- ・酒税などの指導と調査
- ・消費税などの指導と調査

葬儀は、6月19日、伊万里商工会議所と株式会社黒木組の合同により伊万里小学校でしめやかに行なわれ竹内市長は、市民を代表して伊万里市名誉市民の称号を贈るとともに故人のめい福を祈りました。

伊万里市名誉市民の称号を贈られたかたは、昭和32年、教育者として教育の振興に功績があった、坂本満次郎氏（伊万里町長）、昭和36年50有余年にわたり地方自治の進展に尽力された伊万里市議会初代議長武藤庄三郎氏について、3人目です。

黒木右馬氏の経歴

明治42年3月 門司市立商業補修学校卒業

▷公共団体

昭和30年9月～昭和46年6月 伊万里港運営委員会委員

昭和31年12月～昭和46年6月 佐賀地方裁判所・佐賀家庭裁判所民事一般宅地建物調定委員

昭和33年7月～昭和40年7月 伊万里市建設設計画審議会委員

昭和34年7月～昭和46年6月 伊万里湾工業立地審議委員会委員

昭和40年7月～昭和46年6月 伊万里市建設設計画審議会会长

▷民間団体

昭和8年3月～昭和15年4月 佐賀県土木建築請負業組合理事長

昭和9年5月～昭和18年4月 日本土木建築請負業連合会評議員

昭和10年3月～昭和18年4月 九州土木建築業連合会理事

昭和15年11月～昭和18年4月 佐賀県土木建築工業組合専務理事

昭和22年10月～昭和28年3月 西松浦郡土木建築業組合長

昭和23年3月～昭和25年4月 佐賀県土建工業組合理事

昭和25年4月～昭和30年6月 佐賀



県建設業協会理事

昭和28年3月～昭和41年5月 佐賀県石材工業組合理事長

昭和30年7月～昭和46年6月 伊万里商工会議所会頭

昭和33年7月～昭和41年5月 佐賀県建設業協会副会長

昭和35年6月～昭和46年6月 佐賀県商工会議所連合会副会長

▷その他の団体
昭和24年7月～昭和41年5月 伊万里中学校育友会会長

昭和31年4月～昭和36年3月 伊万里市西松浦郡連合会育友会会长

昭和39年8月～昭和46年6月 トンテントン奉賛会会長

▷家業
大正8年4月～昭和38年1月 土木建築請負業開業

昭和18年6月～昭和22年6月 西松浦郡内25業者を統括した伊万里土建工業株式会社創立・取締役社長

昭和38年1月～昭和46年6月 株式会社黒木組取締役社長
▷受彰のかずかず
昭和31年11月 建設業関係功労者として藍綬褒章受章

昭和34年10月 P T A活動関係功労者として日本P T A全国協議長賞受彰

昭和38年4月 簡易生命保険事業功労者として熊本郵政局長賞受彰

昭和40年5月 日本赤十字社業務につくした功労で金色有功章受章

昭和41年11月 勲四等瑞宝章受章

青少年よ健やかに育て

山本武夫先生が剣道場を開設

「メーン・ドー・コテー……」

日曜日の朝になると、新築の武道場から子どもたちの元気なかけ声がひびいてくる。

山代町立岩の山本武夫先生（山代西小学校教頭・50歳）の修武館道場には、約50人の子どもたちが毎週日曜の午前8時から約2時間、山本先生や先生の愛でし山本一郎5段（23歳）・山本晃利3

段（27歳）などの指導で一生懸命けいこに励んでいます。

この修武館は、山本先生が「青少年が健やかに育つように」と自前で建設したものです。先生は、剣道5段練士の腕前で、10数年前から自宅の庭で近所の子どもたちに剣道を教えていましたが、子どもたちがケガをしたり、雨の日などは練習できなくなため、安心して練習できる道場建設を思い立ちました。

10年ぐらい前から資金づくりにとりかかり、このほど家庭菜園にしていた畑を造成、約170万円をかけて平屋建て約85平方メートルの道場を建設し、無料で子どもたちに開放し

ました。道場には神棚があり、便所やシャワーもついたりっぱなもので、防具6組もそろえてあります。



こうした先生の善意にうたれた川浪晴男さん（山代公民館・29歳）は、子どものために使ってほしいと黒胴の防具2組を贈りました。またかって山本先生の指導をうけた山本一郎・山本晃利さんらは、今こそ恩返しをと代げいこをかってできるなど山本先生を感激させています。

うわさを聞いた父兄や子どもたちが、ぜひ入門させてください。と申し込みが相次ぎ先生はうれしい悲鳴をあげています。

山本先生の話

計画が実現してうれしい。子どもたちが剣道をとおして、正直で明るく元気に育ってくれることを願っている。ただ、大事な子弟をあずかっているので、ケガでもしたらと心配だ「スポーツ保険」のような制度ができたらと思っている。

町民の心身鍛錬に 松浦町に剣友会できる

松浦町剣友会の発会式が5月30日松浦中学校で行なわれました。

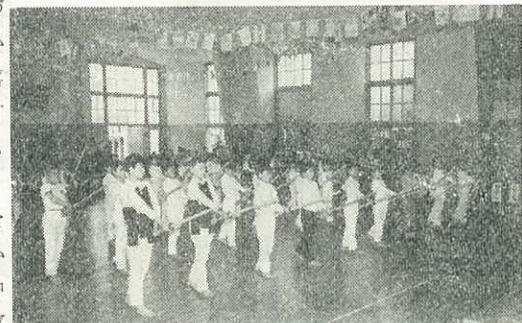
剣道をとおして町民の心身を鍛錬し、健康で明るい町づくりをしようと早くから準備委員会（藤田喜代馬会長）をつくり町民に呼びかけていたものです。

発会式には、町民をはじめ市剣道連盟のかたがたや町内の小・中学生が集まり発会を喜び合いました。

式のあとは、市剣道連盟のかたたちが居合い抜きや剣道型を披露、小中学生は、伊万里警察署の中村喜善一7段の指導で、剣道の基本動作をみっちり練習しました。

また、町内の有段者と市剣道連盟の練習試合なども行なわれてぎわいました。なお、この剣友会の発会を祝って町民のかたたちから約47万円

の資金が集まり、剣道防具を小学校と中学校にそれぞれ15組、教師用に5組をそろえました。



こんごは、町内の有段者などの指導で練習をつみ、毎年夏休みと冬休みに大会を開いて技を競うことにしています。

市内には、波多津町少年剣道会をはじめ、各町に剣道スポーツ少年団などの組織がつくられていますが町民全部を対象にした組織をつくったのは松浦町がはじめてです。

モシモシ短信

呼出音は10回まで待て

相手の電話につながると「ツーッー」という断続音がします。これは相手を呼んでいる合図です。

相手が出ないといつてすぐ切らずに、呼出音が10回（30秒）なるまでお待ちください。

7月22日～23日

全市あげて港まつり

海に陸に多彩な行事

伊万里港のめざましい躍進を記念して第1回の「港まつり」を、7月22日と23日の2日間にわたって、伊万里港を中心に行なうございます。

ひるがえってみると、ラクダ産業が、市の誘致企業第1号として山代町久原に進出したのが、昭和38年でした。

そして、翌39年3月13日には、合板原料のラワン材を満載した日本汽船の赤岩丸（3,500トン）が、はじめて伊万里港にいかりをおろしました。以来、伊万里港は、にわかに活気をとりもどし、相次ぐ企業の進出操業とともに、貿易船の入港は年を追うごとに増加、昨年は134隻・輸入高は54億2,000万円にも達しました。また、ことし4月には7億円という、これまでの月間最高記録をつくるなど、各企業とも安定した躍進を続けています。

いっぽう、貿易港としての整備も順調に進み、昭和42年6月、開港指定とともに入国管理港・植物検疫港指定、さらに、ことし10月には検疫港指定も内定し、名実ともに国際貿易港として飛躍せんとしています。

「港まつり」は、市や商工会議所観光協会・漁協・木材輸入協議会や港湾運送業者・商店連合会など市内各種団体の協力を得て、全市あげて多彩な行事を行なうことにしていきます。

►7月22日は、海上保安部の巡視艇6隻が伊万里港に入港、竹内市長が一日保安部長をつとめます。湾内では巡視艇の観闘式や船隊運動などが行なわれ、鹿児島の海上保安部航空基地からは、飛行機が湾上空に飛来して、海と空のデモンストレーションを行ないます。また、市内の恵ま

れない子どもたち約100人を招いて湾内を一周する体験航海、伊万里商唐津商・唐津東の3高校によるヨットやボートレースのほか、伊万里川畔ではプロスキーヤーを招いて、水上スキーショーも行なわれます。

いっぽう、陸では事業所対抗のど自慢大会、夜は、伊万里川畔で、花火大会などが計画されています。

なお、市内のバスは、2日間とも

花バスを運行し、まつりに花をそえます。

►23日は、午前11時から伊万里玉屋4階ホールで、伊万里港の発展祈願や開港記念式典を行なったあと、黒川ポートセンターで、小中学生の水上カーニバル（水泳大会）や商店街青年会議所会員の行事参加、漁船の満船飾による波多津港から久原ふ頭までの大パレード（みこし渡し）のほか、自衛隊音楽隊の演奏会など多彩な行事が行なわれることになっていきます。

行事の場所や時間は、チラシなどでお知らせします。

ごみ袋を荒らす犬対策を

伊万里生活学校が環境衛生の対話集会

伊万里生活学校は、6月16日、中央公民館に、市保健衛生課や保健所業者などの出席を求め、ごみの袋収集やし尿汲み取り料金の定額制問題について対話集会を開きました。

集会は、改正後のごみとし尿の処理問題に意見や苦情が集中、市や業者などに対して、次のような意見や要望が出されました。

►特別清掃地域にはいっていないところも月1回ぐらい不燃物の収集をしてもらえないか。

業者 駐在員（区長）を通じて申し込んでいただければ、2か月に1回は収集するようにしたい。

►ごみ袋を犬や猫が食い荒らすので、飼い犬はつなぐように指導し野犬は捕獲してほしい。

保健所 飼い犬は、つないで飼うことになっている。飼育者は協力してほしい。7月から野犬は毎週火曜日、不用犬は金曜日に回収する。

►犬に食い荒らされないように袋は家の中に置くことにしたいが、収集車がくるのがわからないときがあるので、前ぶれしてもらえないか。

業者 前もって合図をすること

になれば人件費の問題があるので困難のようだ。

し尿汲み取りについては、申し込みどおり汲み取ってもらえない。業者と市はもっとよく連絡し合って市民の希望どおり汲み取りをしてほしいなどの意見が出されました。

また、市側からは、ごみの取り扱いについて次の要望が出され、市民の協力を求めました。

- われものなどは、米袋などの丈夫な袋に入れてから収集袋に入る。

- 燃えないものを、自分で処理するときは、立花台地の不燃物捨場に運搬して捨てる。

- エアゾールなどスプレー式のあきかんは、穴をあけてから袋に入れる

- 残飯は、ザルなどで完全に水けをきってから袋に入れる。

また、河川や水路に不燃物などを捨てられるため、川や水路にたまりよごれるばかりでなく、災害の原因にもなります残飯やビニール製品など、みぞや川などに流さないようにしましょう。

なお、プラスチック製品は必ずピンク色の収集袋に入れましょう。

都市開発課を新設

6月1日付で職員119人異動

6月1日付で機構改革と職員119人の異動を行ないました。

こんどの機構改革は、建設課の都市開発室を課に昇格したことと、土地改良課の係名を土地改良第1係と第2係に改め、教育委員会の社会教育課に社会体育係を新設しました。

都市開発課は、新しい都市計画の立案・伊万里川改修・国道202号線バイパス建設などを進めるために設けました。

土地改良課は、42年災害の復旧事業完了に伴い、災害係を廃止して農業基盤の整備を進めます。仕事の内容は2つの係とも同じです。市民のかたに不便をかけないように、第1係は黒川・波多津・南波多・二里地区を担当、第2係はその他の地区を担当しています。しかし、大きな事業や特殊な事業などは、相互協力しあわせて職員の資質を向上させるため流動性をもたらしました。

社会体育係は、いま進めている市民の体力づくりと体位の向上を図るため、専任職員を配置しました。

なお、人事異動は、機構改革に伴うものと、外部局との交流・3年以上同一職場にある職員の配置替えなどを重点に行ないました。

異動の内容は、次のとおりです。

◎課長級

▷市民課長併任選挙管理委員会事務局長=大崎正 ▷労働課長=村岡博
▷都市開発課長=吉牟田正己 ▷議会事務局長=牧瀬良四 ▷消防長=多久島俊次 ▷教委社会教育課長=高庄清実 ▷総務課付=深江貞雄

◎課長補佐級

▷総務課長補佐兼庶務係長=中島善明 ▷税務課長補佐兼庶務係長=高

田文夫 ▷建設課長補佐兼維持補修係長=吉田弘介 ▷福祉事務所次長兼庶務係長=田中繁一 ▷市民病院事務長=波多慶 ▷消防次長兼予防安全係長=井手敏男 ▷黒川公民館長兼黒川出張所長=條島勝 ▷農林水産課長補佐待遇=松尾重利

◎係長級

▷秘書企画課事務管理係長=丸田辰雄 ▷総務課職員係長=井手稔
▷税務課徵収係長=島田清次 ▷市民課窓口係長併任選挙係=中島信一
▷同国民年金係長=大野基 ▷農林水産課鉱害係長=川口穣 ▷土地改良課土地改良第1係長=緒方俊
▷同土地改良第2係長=吉永豊
▷労働課労政係長=藤巻善之 ▷水道課簡易水道係長=牧瀬義雄 ▷福祉事務所社会児童係長=西山武司
▷選挙管理委員会選挙係長=立石哲郎 ▷教委総務課施設係長=市丸光彦 ▷同社会教育課社会体育係長=原口拡 ▷東山代公民館長=川原郁朗 ▷中部地区学校給食センター所長=灰崎重夫 ▷中央公民館係長待遇=田中義徳 ▷秘書企画課係長待遇=山口千代高 ▷財政課係長待遇=田代鉄次 ▷税務課係長待遇=松尾義明・大城隆 ▷保健衛生課係長待遇=松本金夫 ▷商工観光課係長待遇=谷口和夫
▷水道課係長待遇=吉田美昭・岡本喜左エ門 ▷都市開発課係長待遇=米沢兼助・山口竹四 ▷福祉事務所係長待遇=池田豊・堀田広美・渡辺宗市 ▷農委係長待遇=久保田親守
▷伊万里公民館係長待遇=高野道雄

◎一般職員

▷秘書企画課=西利治・坂井富士郎
田中健志 ▷総務課=杉本早苗・永峰保馬・竜由紀子 ▷財政課=岩下

勉・藤本タツ子・香月春代 ▷税務課=宮地歌代・井手睦美・川原正人
吉田ハッ子・山浦布治雄・鎌田政明
小松昭夫・岩崎雅 ▷市民課併任選挙係=松尾久男・井手正範・諸江佐源・古瀬義孝・松尾順子 ▷保健衛生課=池田和子・島田正尚・樋口佐紀子 ▷農林水産課=中野和隆・齊藤勇・池田光也・前田君人・渕上博
▷土地改良課=山口成敏・松尾武久
▷建設課=山下義光・崎田洋一郎
▷都市開発課=長野喜一・藤森安磨
梅原恵子・立石友俊・久保田正敏
山口正満・高木久彦・西田武・高取厚美・吉原輝江・熊川義尚・佐々木弘志・柳本満晴 ▷労働課=小林国勝
▷福祉家庭児童相談室=小島睦老
▷福祉事務所=内山文枝・松尾忠郎・吉住正博 ▷市民病院=宝蔵寺伸義
▷南波多出張所=岩崎和子 ▷県派遣=池田勝康 ▷議会事務局=篠房枝・白水忠博 ▷農業委員会事務局=中野静子 ▷監査委員事務局=松浦和恵 ▷教委学校教育課=米川良雄・川上岩男 ▷同社会教育課=井手薰・高志充臣 ▷同総務課施設係=渡辺静生 ▷中央公民館=武藤廣次 ▷二里公民館=前田鉄雄 ▷波多津公民館=金子照夫▷市立図書館=犬塚まゆみ ▷南波多中学校=川久保ヒサ子

岩崎消防長が勇退



6月30日付で、岩崎静馬消防長が退職しました。

岩崎氏は、昭和17年大川内村役場にはいり、合併後は市民課長・保健衛生課長・伊万里公民館長を歴任し昭和40年から消防長として29年の長きにわたり地方自治の発展に貢献しました。

元々人気の高い観光地

青少年の非行なくそく

校警連絡協が非行実態を研究

現代の子どもたちの考え方や行動をよく知り、適切な指導を行なうことが親のつとめであり、学校・社会人の責務でもあります。

校警連絡協議会（伊万里小・牧島小・大坪小・大川内小・伊万里中と伊万里警察署で結成）は、8年前から子どもたちの健全育成を目標におもに次の事項を重点に研究を進めてきました。

▷事例をあげて小中学生の非行傾向を知るとともに、原因を追求して適切な指導を行なう

▷長期休暇中の校外生活を健全なものにするためには、どんな指導をするか

▷学校と警察の連絡を密にして、直接現場で指導する

しかし、青少年の非行は、年を追って増加しています。昨年中市内でも148人が罪をおかしました。このうちで最も多いのが盗みで、小学生7人・中学生61人がつかまましたことしの1月から4月までに小中学生あわせて19人が盗みをはたらいています。こうした非行をなくすためには、十分な研究と適切な指導が必要であり、特にことは次のような具体的な運動方針を決め推進することにしました。

▷金銭教育に対する両親への呼びかけ

はたして、両親は子どもたちにどれくらいの小使いを与えていたでしょうか。ただばくせんと、欲しがるから、月1,000円ぐらいやれば、アルバイトでかせいだ金は勝手に使えなど、安心してはいないでしょうか。金に対する親の無関心から非行が芽ばえることを考えれば決してゆだんできません。この点について、どう指導したらよいか検討するととも

に、家庭のかたがたも十分認識していただきたいと思います。

▷犯罪意識を高める

現代の青少年は、罪の意識が非常に薄いようです。盗みをして補導されても、ただ「欲しかったから」といいます。実に衝動的で、深い考えはありません。また、「こんごは決して盗まないね」といっても「確約できません」と平気で答えます。こ

のように罪への意識が薄い青少年たちをこれからどういうふうに指導すべきだろうか研究します。

▷街頭補導の強化

集団生活をとおして、子どもの学習や生活を教育する場は学校ですがその集団に適応せず、また、家庭生活からも離れた子どもたちが、街頭に出て非行を犯します。

昨年は、221人の小中学生が警察の補導をうけました。これらの子どもたちを健全な生活にもどすために警察の協力をうけて補導を強化することにしています。

校警連絡協議会伊万里支部

用途地域の線引きはじまる

市街地を住居・商業地域など8地区に

市都市開発課は、都市計画法・建築基準法に基づく「用途地域」設定の作業を進めています。

設定する地域は、既成市街地とおよそ10年後に市街化すると予想されるところです。

商店や住宅・工場などが入りまじっている現在の市街地を用途別に地域を分け、よい環境を保全するのが

目的です。また、新しい市街地についても、あらかじめ用途別に専用地域を設けて規制を行ない、機能的な都市化を図ろうとするものです。

なお、用途地域は次の8地域です
 • 第1種住居専用地域・第2種住居専用地域・住居地域・近隣商業地域
 • 商業地域・準工業地域・工業地域
 • 工業専用地域

市勢要覧ができました

市勢要覧の46年版ができました。いままでは、統計グラフなどを主体にしていましたが、市勢の現況がわ

かりやすいように、写真編と資料編に分けて編集しました。

市民の皆さんのが自由にご覧いただけるように、市民生活室や市民課と各出張所においています。おでかけのときは、ぜひご覧ください。

なお、この要覧は、おもに各市の要覧との交換・地方公共団体のほか企業誘致などに使用することにしています



わずか3,900人の加入

減るいっぽうの市民交通傷害保険

5月に更新した市民交通傷害保険の加入状況がまとまりました。

5月末現在の人口5万9,627人に対して3,902人・6.5パーセントが加入しています。

町別には、南波多町が25.2パーセントで最高、大川町が17.1パーセントの加入率です。山代町・東山代町・松浦町はわずか2パーセント台にすぎません。反面、交通事故はふえるいっぽうで、ことしにはいってすでに60人が死傷し、前年同期に比べ14人ふえています。

なお、昨年加入していた人の給付状況をみると、5月末日までに給付申請した人が51人で、165万6,000円を給付しています。

交通事故は、被害者や加害者だけでなく、家族のかたまで迷惑をかけることになります。いつ、だれがどこで事故にあうかわかりません。

今月は 所得税の納付月

今月は、昭和46年申告所得税第1期分の納期です。

お届けした納付書により、佐賀銀行の各支店（伊万里・楠久・久原）・親和銀行伊万里支店または、郵便局へ納めてください。

預金口座振替納税をしているかたの納付書は、取引金融機関へ直接送付しました。なお、預金口座振替納税をしていないかたは、便利なこの制度をご利用いただくようおすすめします。手続きなどの詳しいことは税務署徴収課（電話3147番）へお問い合わせください。

5月は税の相談日です。気軽にご利用ください。

万一の補償のために、家族全員が市民交通傷害保険に加入しておきましょう。

7月に加入すると、保険料は400円です。印かんをもって市役所市民課か各出張所、または、市内の金融機関にお申し込みください。ただし農協は取り扱いません。

市民交通傷害保険加入状況

(5月31日現在)

町名	加入者数	加入率
伊万里	1,040人	5.0%
黒川	155	4.8
波多津	218	6.0
南波多	878	25.2
大川	709	17.1
松浦	105	2.8
二里	407	6.8
東山代	157	2.7
山代	233	2.6
合計	3,902	6.5

福住少年剣道会Aが優勝

伊万里青少年剣道大会ひらく

伊万里青少年剣道大会（主催＝伊万里ロータリークラブ）が、6月13日、伊万里学園高校で開かれました。大会には、市内をはじめ福島町の小・中・高校生約200人が参加、日ごろみがいた技を競い合いました。成績は次のとおりです。

▶個人（小学校の部）

1位 福山健児（大坪）

2位 弘川貴紀（山代）

3位 金子智幸（大坪）

△ 山口正孝（福住）

（中学校の部）

1位 川添光秀（伊万里）

2位 石井三博（△）

3位 楠田哲男（△）

△ 川本好弘（松浦）

（高校の部）

1位 大屋正典（伊万里）

2位 田中克吉（伊万里）

3位 副島一臣（伊万里学園）

▷女子個人

・中学の部

1位 吉原初美（伊万里）

2位 宝蔵寺和子（△）

・高校の部

1位 江里口優子（伊万里）

2位 松本美代子（伊万里農林）

▶団体（小学校の部）

1位 福住少年剣道会A

2位 大坪A

3位 大里スポーツ少年団B

△練心館

（中学校の部）

1位 伊万里 2位 松浦

3位 福島中興・国見

（高校の部）

1位 伊万里商 2位 伊万里農

大坪町の祇園町は、町の美化をかねて、PTAの役員さんや町内の皆さんの協力を得て5月16日、町内の廃品回収をしました。

空びん・古鉄・ボロ・古新聞などが山のように運び出され、町はすっかりきれいになりました。換金した

ら1万4,000円ほどになったそうです

このお金は夏に計画している子どもたちの海水浴の費

用に当てられるとみんな大喜びで

した。

あなたの町でもこの一石二鳥をねらってみませんか。

青年の船に乗って

インドでは、グループで民家を訪問しました。

わたしたちが訪問した家は、かなり裕福な家庭でしたが、家のの中はがらんとしていて家具もほとんどなく敷物もないセメントの床を素足で歩くようになっていました。

また、あいさつに出てきた家族の多いのにもびっくりしました。

三代の世代、それに姉妹夫婦といく組もの夫婦が同居していました。

この大家族主義は、カースト制（1,500年前ごろ、アーリア人のインド侵入によってできた厳重な階級制度で、職業・職種が結びついて発達したもの。いまでは2,000から3,000に分化しているといわれている）とともにインドの近代化を遅らせているといわれています。

有名なインドカレーをごちそうになりましたが、本場のカレーは、香辛料がたくさんはいっていて、わたしたちの口に合うものではありません。

んでした。

シンガポールは、日本の淡路島とほぼ同じ大きさです。

道路は整備され、美しく建ちならぶ20階建ての公営アパート群、それに緑の樹木の並木と、完備された国でした。

公衆道德も徹底しているとみえて街にはチリひとつありませんでしたインスタント・アジア（アジアの縮図）といわれるだけに、各国の商品

高雄市から台南市へ向う途中でも軍事教練をうけている兵士、畠の中に防空壕やトーチカをあちこちに見かけました。しかし、街を行きかう人びとは、のんびりしていて戦時下であることすら忘れてしまうくらいでした。

三民主義・反共・總統万歳の文字がいたるところで目につきました。

貧しい国、フィリピン・発展するシンガポール・武装した台湾と、各国さまざまでしたが、どの国も日本の経済援助に期待しているようでした。

日本の経済は、世界第3位といめざましい成長をとげ、各國への援助も行なわれています。しかし、今日の日本をつくりあげたのは、日本人のもつ勤労精神だと思います。

それに比べ視察した東南アジア各國の人びとは、勤労意欲に欠けています。経済援助も必要と思いますが、彼らには先ず、働く意欲をもたせるための、広い意味での教育の必要性を痛感しました。

（おわり）

畠の中に防空壕

が店頭に並び、看板の文字も中国語マレー語・英語とさまざま、街行く人もいろいろな人種が目につきました。

しかし、この国の人たちは、民族意識が強く、国の発展のために精進しています。

「戦時下」の台湾は、岸壁に小銃をかまえた兵士・海岸近くのビルの屋上には大砲・港内には軍艦がひしめき、写真撮影も禁止しています

副島元市氏ご逝去



前伊万里市森林組合長の副島元市氏（82歳）は、6月5日、老衰のためめなくなりました。

氏は、県議会議員1期・市議会議員3期のほか、県農業会議副会長や市農業委員・市森林組合長などを歴任、地方自治の発展と産業の振興に貢献された功績により、昭和39年に黄綬褒章・40年に勲五等瑞宝章を受章されました。

葬儀は、6月7日、西念寺でしめやかに行なわれ、関係者多数が参列故人のごめい福を祈りました。

市政のご意見番

市政モニター決まる

昭和46年度の市政モニター24人が決まりました。

これから来年3月まで、市民の立

場から市政に対する建設的な意見や課題に対して回答をいただくことにしています。

住 所	氏 名	年令	職 業	住 所	氏 名	年令	職 業
船屋町	前田 利昭	38	商 業	南波多町	井手 衛	23	農 業
木須東	中村 良子	21	農 業	〃	梅村 清治	23	〃
木須西	松尾 常幸	41	〃	大川町	鶴田のぶ子	44	無 職
大坪町	田中 義徳	44	自動車販売	〃	松尾 博幸	30	商 業
富士町	原口 武	57	無 職	松浦町	早田 早苗	47	無 職
立花町	三溝 直裕	45	不動産業	〃	古川 末男	35	農 業
大川内町	原 和子	45	農 業	二里町	池田 九平	66	〃
〃	前田 清	46	〃	〃	西山 和子	49	無 職
黒川町	前田 徳男	34	〃	東山代町	才木 秀男	66	〃
〃	柳本キヨノ	42	無 職	〃	森 幸子	47	〃
波多津町	塙本 スミ	50	〃	山代町	中島 敬子	52	〃
〃	古川 重利	24	農 業	〃	橋口 金馬	50	会 社 員

青い海を取りもどそう

今月は海をきれいにする月間

最近、経済のめざましい発展につれて、港や海がよごされ大きな社会問題になっています。

この公告を防止するために、昨年の末、海洋汚染防止法をはじめ、公害関係の法律が成立し、ことし6月から施行されました。

運輸省や海上保安庁は、この機会に海洋汚染の実態を明らかにして環境保全についての意識の高揚をはかるため、6月21日から7月20日までの1か月間にわたって「海をきれいにする月間」と決め、海運や水産など海を生活の場としている人たちとともに、おもに次のことを全国的な

運動として進めています。

- ▶船舶や陸から港湾や河川にごみなどを捨てないように指導するとともに、関係団体の協力をうけて、港湾に放置してある廃船や漂流物を撤去景勝地や海水浴場付近のごみ処理と清掃を行なうこととしています。
- ▶港のある都市では、公害関係法令の説明会や映画「青い海を返せ」上映などを行ないます。
- ▶指導週間を設けて巡回し公害関係法令の指導を行ないます。
- ▶海上保安庁が行なっている巡回船の体験航海のとき、参加した児童生

徒に記念バッヂを配付するなどの行事が行なわれます。

わたしたちは、日ごろの海の恩恵をあらためて認識するとともに、けがされつつある海や河川をわたしたちの手で守らなければなりません。

無料特設人権相談所開設

▷日時 7月20日 9時～16時

▷場所 山代公民館

▷相談担当者

人権より護委員 水上房代氏
佐賀地方法務局伊万里支局
支局長 明石利男氏

▷相談をうける内容

- ・人権問題
- ・不動産問題
- ・相続問題
- ・借地、借家問題
- ・家庭問題
- ・その他

◎特殊教育対象児について

特殊教育といえば、現在小中学校に設置されている特殊学級を考えがちです。もちろん特殊学級も特殊教育の大きな分野ですが、この教育は、前号で述べたように、心身に障害のある広い分野にわたっていることを理解いただきたいと思います。対象になるおもなものを述べると次のとおりです。

▷視覚障害者

両眼の視力が0.1未満、両眼視力が0.1～0.3未満、点字による教育を必要とするもので、盲学校で特別の教育を行ないます。

▷聴覚障害者

両耳の聴力が、90デシベル（音のひびきの単位）以上の難聴者、90～50デシベル以上の普通の話し声を補聴器を使っても困難な者で、ろう学校で教育を受けることを適当とします。

▷精神薄弱者

特殊教育対象児で、最も多いのがこの分野です。そのいどにより軽度・中度・重度に区分されます。

普通の者より精神発育が遅れても、軽度の者は特殊学級に入級さ

特殊教育



(5)

せて個人に適応した教育を行ないます。

普通学級の生徒の中にも、まだ相当数の障害児がいると思われます。

この教育の趣旨を理解し、一日も早く特殊学級への入級をおすすめします。

中度以上の者は、その障害のいどや実態に応じて特殊学校か施設で教育するのが適当です。

県内には、「くろかみ学園」「めぐみ園」「いとし子の家」の施設があります。

▷肢体不自由者

・体幹機能障害で、体の支持ができるない者または困難な者

- ・上肢機能障害で、筆記などができるない者または困難な者
- ・下肢障害で、歩けない者または困難な者

施設は、県立の養護学校・整肢学園があります。

▷病弱者

身体虚弱・言語障害・重複障害・情緒障害・慢性胸部疾患・心臓疾患・じん臓疾患などで、6か月以上の医療、または生活規制を必要とする者などがあります。

国立中原療養所は、病弱者身体虚弱者の治療とあわせて学習指導も行なっています。

心身障害児に最もたいせつなことは、早く発見し、早く手だてを行なうことです。教育委員会・学校・福祉事務所などにご相談のうえ、適切な治療と教育をうけるようにおすすめします。

次号では、これらの判別についてお知らせします。

市特殊教育推進協議会啓発委員会

委員長 森 清次

子どものページ

もうすぐ夏休みです 毎日の生活は規則正しく

ピカッ・ゴロゴロ…と、つゆ雷がとどろくと、やがて長いつゆがあがります。そしてこんどは真夏。待ちに待った夏休みもうすぐです。

みなさんは、夏休みのたのしい計画をたてていることでしょう。

今月は、みなさんが夏休みをたのしくすごせるように、守ってもらいたいことをお伝えします。

夏まけをふせごう

7月のなかばをすぎると、暑さがきびしくなって、からだがだるくなったり、食欲がなくなり、お茶づけやひやむぎなどですまてしまいかちです。しかし、これでは暑い夏を乗り切ることはできません。うんといいよう栄養をつけて元気にすごしたいもの

です。

「夏やせによし」というものぞ、むうなぎとりめせ」と万葉の昔から夏にはウナギをたべると、夏まけしないといわれています。暑さにまけないためにには、油っこいものや牛乳バター・野菜などをじゅうぶん食べることです。

また、2か月ちかい長い休みのあいだには、なまけぐせがついて、毎日の生活が不規則になります。新学期がちからくなつて、あわてなないように、自分で毎日の時間表をつくり、計画的な生活をすることもたいせつです。

寝びえに気をつけよう

かんかん日の下で、帽子も

かぶらずにあそんでいる子をよく見かけます。長い間強い日ざしをあびると、日射病にかかることがあります。そとへ出るときは帽子を忘れないことです。

また、むし暑い夜は、はだかでてしまします。朝がたになると、気温がさがり、それにねむっているあいだは、おなかの抵抗力が弱くなりますので、ちょっとひえただけでもおなかをひやしてはらいたやげりをおこします。おなかをひやさないように、腹巻きをしてやすみましょう

なま水をのまないこと

「なま水をのむな」といわれたことがあると思います。水道の水だからといって、なま水をやたらにのみすぎると、おなかをこわします。できるだけお茶のひえたものをのみましょう。

れいぞう庫のなかの食べ物にも気をつけましょう。れいぞう庫にはいっているからと安心してはいけません。のみものなどを出したり入れたりしているあいだに食べ物が悪くなつていて食中毒にかかることがあります。

行き先をはっきりと

こうつうじこ すいし
交通事故や水死事故がふえるとき
がいしゆつ ちゆうい
です。外出するときはよく注意しま
おや しんばい
しょう。また、親に心配をかけない
ゆ さき つた やく
ように、行き先をはっきり伝え、約
そく じかん かえ
束した時間にはできるだけ帰るよう
にしましょう。



市内の地図をつくってください

ぼくは伊万里小学校の5年生です
4年生のとき、社会科で「わたくし
たちのきょう土」について勉強しま
した。伊万里市の地図を買おう
と思って書店へ行きましたが
売ってありませんでした。
からつ・佐賀・佐世保・平
戸などの地図があるのに伊
万里の地図はなぜ売っていない
のでしょうか。

伊万里小5年 喜多邦弘

【おこたえ】 日ごろから、よく勉強されているようです。これからも
うんとかんぱってください。

ところの名まえや市町村のさかいなどをしるした、せいみつな地図は書店にも売っているようですが、小学校の3・4年生で使うような地図は見当たらないようです。

小学校では、伊万里市内の社会科の先生たちが、けんきゅうしてつくった「郷土資料集」の中にある地図などを使っています。

あなたは、それとべつに自由研究をしているようですから必要な地図を教育委員会か広報係に連絡してください。つくっておととけします。

伊万里市教育委員会

妊　婦　検　診

7月13日 9時30分～12時
波多津町小島医院
〃 13時～15時
東山代町内山医院
〃 20日 13時～14時30分
南波多町小島医院

3歳児健康診査

▷対象者 昭和42年7月1日から昭和43年6月30日までの出生児

▷日時と場所

7月8日 南波多出張所
〃 9日 松浦出張所
〃 12日 大川出張所
〃 14日 二里出張所
〃 15日 東山代出張所
〃 16日 山代出張所
〃 19日 柳井町公民館
〃 20日 柳井町公民館
〃 21日 柳井町公民館

※時間 13時～14時30分

ただし、二里出張所での健康診査は、13時から15時までです。

日本脳炎予防接種

▷対象者 満1歳以上のかた

▷接種回数と料金

○昨年接種していないかた

2回接種 340円

○昨年接種したかた

1回接種 170円

次のかたは無料です。生保受給票か税額明細書をご持参ください。

- 55歳～64歳で市県民税が均等割以下のかた
- 16歳～64歳の生保世帯のかた
また、6歳以下の幼児も無料です

▷日時と場所

1回目	2回目	場 所
7月12日	7月20日	二里小学校
〃 15日	〃 23日	牧島小学校
〃 16日	〃 23日	大川内小学校

1回目 2回目 場 所

7月19日	7月27日	大坪小学校
〃 20日	〃 28日	立目分校
〃 22日	〃 30日	伊万里小学校

※時間 13時30分～14時30分

住民健康診断

▷対象者 満15歳以上のかた

ただし、次のかたは対象になりません。

- 高校生・大学生
- 官公署・会社・事業所の従業員で結核健康診断をうけているかた
- 接客業の従業員

▷料金 無料

▷日時と場所

月日	場 所	実 施 地 区
7. 20	重橋公	重橋・谷口
21	波多川小	高瀬・大曲・水留古里・開拓
	笠椎公	古川・笠椎

※時間 14時～15時30分

次のかたからご寄付をいたしました。厚くお礼申しあげます。
(敬称略)

社会福祉事業費へ

▼香典返しを寄付

○壱万五千円 坂口澤子

(松島町下松島 亡夫八州)

○壱万円 光武茂夫(伊万)

(里町下土井町 亡三男則人)

○五千円 中山幾太(大川)

○壱万円 武藤照見(東山)

(代町浦の崎 亡母ナヲ)

○五千円 富村文太郎(山)

(二里町金武 亡妻キヨ)

○五千円 副島忠広(松浦)

(町中野原 亡父元市)

○壱万円 朝比奈智佐子

(黒川町小黒川 亡夫俊郎)

○三千円 池田トキ(新天)

(町中野原 亡夫勝治)

○五千円 前田弘司(二里)

○壱万円 井手勇(南波多)

(町井手野 亡父与市)

○壱万円 松永為吉(立花)

(町富士町 亡妻チエ)

○壱万円 金石原(朝比奈智佐子)

(黒川町小黒川 亡夫俊郎)

○五千円 朝比奈智佐子

(黒川町小黒川 亡夫俊郎)

○五千円 井手勇(南波多)

(町井手野 亡父与市)

○五千円 原幸隆(松浦町)

(町中野原 亡夫繁雄)

○五千円 朝比奈智佐子

(黒川町小黒川 亡夫俊郎)

○五千円 井手勇(南波多)

(町井手野 亡父与市)

○五千円 武藤照見(東山)

(代町浦の崎 亡母ナヲ)

○五千円 富村文太郎(山)

(二里町金武 亡妻キヨ)

○五千円 副島忠広(松浦)

(町中野原 亡父元市)

○五千円 朝比奈智佐子

(黒川町小黒川 亡夫俊郎)

○五千円 井手勇(南波多)

(町井手野 亡父与市)

○五千円 武藤照見(東山)

(代町浦の崎 亡母ナヲ)

○五千円 富村文太郎(山)

(二里町金武 亡妻キヨ)

○五千円 副島忠広(松浦)

(町中野原 亡父元市)

○五千円 朝比奈智佐子

(黒川町小黒川 亡夫俊郎)

○五千円 井手勇(南波多)

(町井手野 亡父与市)

○五千円 武藤照見(東山)

(代町浦の崎 亡母ナヲ)

○五千円 富村文太郎(山)

(二里町金武 亡妻キヨ)

○五千円 副島忠広(松浦)

(町中野原 亡父元市)

○五千円 朝比奈智佐子

(黒川町小黒川 亡夫俊郎)

○五千円 井手勇(南波多)

(町井手野 亡父与市)

○五千円 武藤照見(東山)

(代町浦の崎 亡母ナヲ)

○五千円 富村文太郎(山)

(二里町金武 亡妻キヨ)

○五千円 副島忠広(松浦)

(町中野原 亡父元市)

○五千円 朝比奈智佐子

(黒川町小黒川 亡夫俊郎)

○五千円 井手勇(南波多)

(町井手野 亡父与市)

○五千円 武藤照見(東山)

(代町浦の崎 亡母ナヲ)

○五千円 富村文太郎(山)

(二里町金武 亡妻キヨ)

○五千円 副島忠広(松浦)

(町中野原 亡父元市)

○五千円 朝比奈智佐子

(黒川町小黒川 亡夫俊郎)

○五千円 井手勇(南波多)

(町井手野 亡父与市)

○五千円 武藤照見(東山)

(代町浦の崎 亡母ナヲ)

○五千円 富村文太郎(山)

(二里町金武 亡妻キヨ)

○五千円 副島忠広(松浦)

(町中野原 亡父元市)

○五千円 朝比奈智佐子

(黒川町小黒川 亡夫俊郎)

○五千円 井手勇(南波多)

(町井手野 亡父与市)

○五千円 武藤照見(東山)

(代町浦の崎 亡母ナヲ)

○五千円 富村文太郎(山)

(二里町金武 亡妻キヨ)

○五千円 副島忠広(松浦)

(町中野原 亡父元市)

○五千円 朝比奈智佐子

(黒川町小黒川 亡夫俊郎)

○五千円 井手勇(南波多)

(町井手野 亡父与市)

○五千円 武藤照見(東山)

(代町浦の崎 亡母ナヲ)

○五千円 富村文太郎(山)

(二里町金武 亡妻キヨ)

○五千円 副島忠広(松浦)

(町中野原 亡父元市)

○五千円 朝比奈智佐子

(黒川町小黒川 亡夫俊郎)

○五千円 井手勇(南波多)

(町井手野 亡父与市)

○五千円 武藤照見(東山)

(代町浦の崎 亡母ナヲ)

○五千円 富村文太郎(山)

(二里町金武 亡妻キヨ)

○五千円 副島忠広(松浦)

(町中野原 亡父元市)

○五千円 朝比奈智佐子

(黒川町小黒川 亡夫俊郎)

○五千円 井手勇(南波多)

(町井手野 亡父与市)

○五千円 武藤照見(東山)

(代町浦の崎 亡母ナヲ)

○五千円 富村文太郎(山)

(二里町金武 亡妻キヨ)

○五千円 副島忠広(松浦)

(町中野原 亡父元市)

○五千円 朝比奈智佐子

(黒川町小黒川 亡夫俊郎)

○五千円 井手勇(南波多)

(町井手野 亡父与市)

○五千円 武藤照見(東山)

(代町浦の崎 亡母ナヲ)

○五千円 富村文太郎(山)

(二里町金武 亡妻キヨ)

○五千円 副島忠広(松浦)

(町中野原 亡父元市)

○五千円 朝比奈智佐子

(黒川町小黒川 亡夫俊郎)

○五千円 井手勇(南波多)

(町井手野 亡父与市)

○五千円 武藤照見(東山)

(代町浦の崎 亡母ナヲ)

○五千円 富村文太郎(山)

(二里町金武 亡妻キヨ)

○五千円 副島忠広(松浦)

(町中野原 亡父元市)

○五千円 朝比奈智佐子

(黒川町小黒川 亡夫俊郎)

○五千円 井手勇(南波多)

(町井手野 亡父与市)

○五千円 武藤照見(東山)

(代町浦の崎 亡母ナヲ)

○五千円 富村文太郎(山)

(二里町金武 亡妻キヨ)

○五千円 副島忠広(松浦)

(町中野原 亡父元市)

○五千円 朝比奈智佐子

(黒川町小黒川 亡夫俊郎)

○五千円 井手勇(南波多)

(町井手野 亡父与市)

○五千円 武藤照見(東山)

(代町浦の崎 亡母ナヲ)

○五千円 富村文太郎(山)

(二里町金武 亡妻キヨ)

○五千円 副島忠広(松浦)

(町中野原 亡父元市)

○五千円 朝比奈智佐子

(黒川町小黒川 亡夫俊郎)

○五千円 井手勇(南波多)

(町井手野 亡父与市)

○五千円 武藤照見(東山)

(代町浦の崎 亡母ナヲ)

○五千円 富村文太郎(山)

(二里町金武 亡妻キヨ)

○五千円 副島忠広(松浦)

(町中野原 亡父元市)

○五千円 朝比奈智佐子

(黒川町小黒川 亡夫俊郎)

○五千円 井手勇(南波多)

(町井手野 亡父与市)

○五千円 武藤照見(東山)

(代町浦の崎 亡母ナヲ)

○五千円 富村文太郎(山)

(二里町金武 亡妻キヨ)

○五千円 副島忠広(松浦)

(町中野原 亡父元市)

○五千円 朝比奈智佐子

(黒川町小黒川 亡夫俊郎)

○五千円 井手勇(南波多)

(町井手野 亡父与市)

○五千円 武藤照見(東山)

(代町浦の崎 亡母ナヲ)

○五千円 富村文太郎(山)

(二里町金武 亡妻キヨ)

○五千円 副島忠広(松浦)

(町中野原 亡父元市)

○五千円 朝比奈智佐子

(黒川町小黒川 亡夫俊郎)

○五千円 井手勇(南波多)

(町井手野 亡父与市)

○五千円 武藤照見(東山)

(代町浦の崎 亡母ナヲ)

○五千円 富村文太郎(山)

(二里町金武 亡妻キヨ)

○五千円 副島忠広(松浦)

(町中野原 亡父元市)

○五千円 朝比奈智佐子

(黒川町小黒川 亡夫俊郎)